



今月の主な目次

- ネオデント・ニューデントの品種紹介
- おいしいサイレージと早春のスラリー
～牛がよろこぶ究極のレシピ～

- 平成21年産牧草サイレージの傾向と給与管理上の留意点
…21年産は、養分補給が肝要…
- 平成21年産粗飼料の傾向

時の話題

激変期ほど原点回帰を

立春過ぎたといえ、まだ一面は銀世界の北海道、春にはまだ遠くという感じがいたします。暖冬といわれていますが年明けての局部的豪雪、寒波など農業の宿命というべき気候との戦いがまた始まります。

昨年は激動の1年でありました。経済面ではアメリカ発の金融危機から経済不況が深刻化。政治面ではアメリカ、日本とも政権交代が実現。そして、冷夏・長雨、インフルエンザの流行です。今年はどうなるのかと展望してみると、経済状況は日本経済の牽引である自動車・電気産業が急激に回復されるとは考えられず、相変わらずの不況が続く可能性が大きいものと思います。政治情勢では新政権でどう変わってくるのか期待感もありますが、急激な変化は様々な摩擦を生じ、しばらくは混迷が続くと思いますが社会・経済情勢とも大きな転換期にさしかかった年になると思われれます。

昨年は乳価の大幅引き上げが実現と、配合飼料価格の大幅な引き下げもあり酪農経営の収益性もやっと改善へと好転の兆しが見えてきましたが、平成21年度暦年における全国の生乳生産数量は790万9,488トン、前年対比99.1%で6年連続での減少を見せています。国内の生産数量の半分を占める北海道での冷湿害の影響で粗飼料の不足・栄養価が低い・サイレージの品質低下などが増産の阻害要因となり、今年が一番草が収穫されるまで心配されるどころです。

一方、穀物相場はリーマンショックで大幅下落いたしました世界的なマーケットの需給状況、投機資金の動きなど今年も余談を許さないでしょう。いずれにしても、2・3年前の再現になりかねない情勢と覚悟しなければなりません。自給飼料の拡大・充実に更に力を入れる必要があります。

弊社は、会社創立60周年を今年迎えるわけですが、北海道で酪農家の皆様に育てられた、牛のエサとなる飼料作物種子の自給飼料分野、配合飼料の流通飼料分野での両分野で全国展開している唯一のメーカーであり、今後とも牛のエサに注力した開発を進め、生産者の皆さんのエサの基盤である自給・流通飼料で、更に提案力を高めて行く所存です。今年が寅年で60年の節目、多難な年ですが様々なことにトライして来年の卯

で大きく跳ねる年につなげたい想いを新たにしているところです。

酪農生産基盤の強化は、やはり土地基盤の強さをどう生かすかにあると思います。「原点回帰」で、酪農は「土―草―牛」の循環を成立させるか否かにあります。経済至上主義の中、規模拡大と1頭当たりの生産量向上で日本酪農は進んできましたが、購入飼料比率の増加と平均産次・生産寿命の短縮を招きました。しかし、今後も現状の経営を持続できる補償はどこにもありません。

永続的に安定した酪農経営を目指すには、①土地基盤整備です。昨年の冷湿害で畑作地帯では如実に生産物の質・量に差がでており、持続的な土壌改善は飼料作物の反収の増加と品質向上に必ずつながっていくと考えます。②自給飼料増産です。穀物の国際相場や景気の後退に左右されにくい産業構造となるべく、土地に根ざした、草をはむ生き物である乳牛の特質に立脚した酪農。③最後に健康な牛作りです。現在の高泌乳牛は濃厚飼料の多給、サプリメント給与、多くの添加剤使用により維持されています。しかし、元来反芻獣である牛は粗飼料中心に管理されるべきです。高泌乳の追求も否定はしませんが、それよりも牛を長持ちさせる牛本位の使用管理に力を入れる必要性を感じます。昭和40年代を思いつつ原理原則の大事さを感じているところです。この取組みは、最終的に安定した酪農経営につながっていくと確信しています。

さて、今年の10月には、いよいよホルスタイン全共が北海道で開催されます。全共は全国の酪農家の皆さんの乳牛改良の成果をアピールできる絶好の機会であるとともに、牛乳の消費低迷が騒がれている情勢のなか消費拡大活動として絶大的なPR効果が期待できるイベントです。初めての北海道での全共、ぜひこの機会に弊社の本社敷地内にある雪印乳業の前身「北海道製酪販売組合」が大正14年にここにあった宇納農場の製酪所を借りて民間初のバター製造を開始した「雪印バター誕生の記念館」、長沼町にある北海道研究農場での飼料作物種子の開発現場等を視察見学していただければと思っていますのでございます。

今年も良質な自給飼料を豊富に確保できることを心より願っております。私どもが少しでもお役に立てる場面がありましたら、また、ご用命の節は、是非とも最寄の営業所へお気軽にご相談、お声を掛けていただければ幸いです。

(専務取締役 岡村 一範)